

「女性のひきこもり」を考える

— どう理解し、支援していけばよいか —

全国で推計 146 万人、山形県では約 1400 人とも言われる「ひきこもり」。これまでその中心は男性だとされてきましたが、近年は女性たちのあいだでもそれが広がっている現実が指摘されるようになりました。しかし、その支援の多くはひきこもる男性たちを念頭に行われてきたため、ひきこもる女性たちについては支援が不十分となっています。

そこで、特定非営利活動法人 Sisterhood（若年女性の居場所づくりにとりくむ NPO）では、現在、困っている方たちに支援の存在を知ってもらい、気軽に利用してほしいとの思いから、ひきこもる女性とそのご家族を中心に、ひろく関係者や支援者、地域社会に向けたトークイベントを開催します。

2025

9/27 (土) 13:30 ~ 16:30

遊学館3階 第1研修室 (山形市緑町1-2-36)

前半 (13:30 ~ 15:15) 講演 & パネルトーク

「ひきこもり」とはどういう状態か、「女性のひきこもり」の特徴、どんな支援が必要で、それにはどんなかまえが求められるのか等、社会学者の石川良子さんならびに山形の経験者お二人にお話を伺います。

後半 (15:15 ~ 16:30) ワークショップ

当事者ご家族、女性、それ以外の方がたの3グループに分かれ、それぞれの交流と対話の時間となります。



石川良子

立教大学社会学部教授。専攻は社会学・ライフストーリー研究。日本オーラル・ヒストリー学会会長。2000年から調査研究をスタートし、当事者の語りをもとに「ひきこもり」とはどのような経験なのか追求してきた。厚生労働省「ひきこもり支援ハンドブック」検討委員も務める。

著書に「『ひきこもり』から考える——<聴く>から始める支援論」（ちくま新書）、「ひきこもりの<ゴール>」（青弓社ライブラリー）、共編著に「ライフストーリー研究に何が出来るか」（新曜社）、共著に「『ひきこもりの30年を振り返る』」（岩波ブックレット）など。



対象/どなたでも (参加無料)

※女性・男性どちらの方も対象としています

参加申込は、QRコードよりよろしくお願ひします
お問合せ / takiguchika@gmail.com (滝口克典)



Sisterhood
特定非営利活動法人 Sisterhood

「特定非営利活動法人 Sisterhood」とは？

2022年4月設立（2024年4月法人化）。山形市を拠点に、ジェンダー平等の社会をめざし、さまざまな市民活動にとりこんでいます。おもな活動の柱は以下のとおりです。

① 若年女性向けの居場所づくり

山形市八日町において、フリースペース「Mayflower」を開設しています（毎週木・金 14～20時）

② さまざまなテーマでの学び／語りの場づくり

- ・山形市八日町での「ジェンダーもやもや女子会」（奇数月第3土曜 14～16時、偶数月第3土曜 17～20時）、同じく「クラフトの会」（毎月第2土曜 14～16時）
- ・山形市緑町（遊学館学習室）での「女性の生きづらさ／女性支援についての連続講座」（毎月第4日曜 10～12時）
- ・山形市上桜田での「居場所づくりのお悩み相談会」（毎月第3木曜 19～21時）
- ・村山地域各地を回る「ひきこもり講座&親の会」（毎月第2・第4金曜 19～21時）などを開催しています。

③ 女性のしごとづくり

子育て中の女性が「自分時間」を確保できるようお手伝いしていく「ベビーシッター派遣」事業を準備中です



お問合せは、QRコードまたは、Tel / 080-1836-1981（滝口克典）

主催／特定非営利活動法人 Sisterhood

〒990-0041 山形市緑町 4-10-3 ファートンビル3階 B

寄付のお願い

Sisterhood では、常時、市民の皆さんより寄付を募集しています。いただいたご寄付は、上記スーツのクリーニング代や、生活が困窮している女子学生やシングルマザーの方への食糧支援などに充てさせていただきます。クレジットカードは Syncable、銀行振込は下記の口座へお願いいたします。



クレジットカードからは
QRコード
寄付サイト Syncable



銀行お振込みは
GMO あおぞらネット銀行 法人営業部
普通 1911440 トクヒ) シスターフード

